

令和3年度学校評価【最終評価】の結果について

1 評価項目と結果

4:十分達成できている 3:おおむね達成している 2:やや不十分である 1:不十分である 0:分からない、判断できない

番号	評価項目	評 価					0を除く平均	中間平均	中間平均との差	
		4	3	2	1	0				
1	学校は、個々の児童生徒の指導計画や、日々の学習に関する計画等を適正に作成し、活用していますか。	全体	50	37	0	0	4	3.57	3.53	0.05
		小	28	14	0	0	2	3.67	3.55	0.12
		中	12	7	0	0	1	3.63	3.53	0.11
		高	10	16	0	0	1	3.38	3.50	-0.12
2	学校は、個々の児童生徒の将来を見据えた学習活動に取り組んでいますか。	全体	44	40	2	0	5	3.49	3.44	0.05
		小	26	13	2	0	3	3.59	3.51	0.07
		中	8	11	0	0	1	3.42	3.32	0.11
		高	10	16	0	0	1	3.38	3.42	-0.04
3	学校は、学習効果を上げるような教材・教具を開発・活用し、児童生徒の学習意欲を高めていますか。	全体	39	41	3	0	8	3.43	3.45	-0.01
		小	25	17	0	0	2	3.60	3.55	0.05
		中	8	11	0	0	1	3.42	3.39	0.03
		高	6	13	3	0	5	3.14	3.32	-0.18
4	学校は、障害のある児童生徒の指導に必要な専門性をもっていますか。	全体	47	34	2	1	7	3.51	3.49	0.02
		小	27	14	0	0	3	3.66	3.56	0.10
		中	10	8	2	0	0	3.40	3.47	-0.07
		高	10	12	0	1	4	3.35	3.38	-0.04
5	学校は、魅力あるPTA活動のために積極的に協力していますか。	全体	41	35	4	0	11	3.46	3.44	0.02
		小	19	14	2	0	9	3.49	3.40	0.09
		中	11	8	1	0	0	3.50	3.53	-0.03
		高	11	13	1	0	2	3.40	3.44	-0.04
6	学校は、児童生徒の安全のため、環境整備や安全管理を徹底していますか。	全体	49	35	3	0	4	3.53	3.52	0.01
		小	26	16	0	0	2	3.62	3.60	0.01
		中	11	7	1	0	1	3.53	3.42	0.11
		高	12	12	2	0	1	3.38	3.46	-0.08
7	職員は、児童生徒のモデルとなるように行動できていますか。	全体	38	32	4	0	8	3.46	3.48	-0.02
		小	23	17	0	0	4	3.58	3.50	0.08
		中	9	1	1	0	0	3.73	3.44	0.28
		高	6	14	3	0	4	3.13	3.48	-0.35
8	学校は、必要な場面で家庭教育の適切な支援ができていますか。	全体	41	43	3	0	4	3.44	3.48	-0.04
		小	26	15	1	0	2	3.60	3.50	0.10
		中	10	10	0	0	0	3.50	3.47	0.03
		高	5	18	2	0	2	3.12	3.44	-0.32
9	学校では、学校行事や他校との交流及び共同学習、校外での教育活動が充実していますか。	全体	41	36	5	0	9	3.44	3.37	0.07
		小	24	17	1	0	2	3.55	3.44	0.11
		中	8	11	0	0	1	3.42	3.41	0.01
		高	9	8	4	0	6	3.24	3.23	0.01
10	学校は、学校の教育活動や地域の特別支援教育の充実のための情報を、保護者や地域に積極的に発信していますか。	全体	35	42	6	0	8	3.35	3.43	-0.08
		小	21	19	2	0	2	3.45	3.49	-0.04
		中	7	9	1	0	3	3.35	3.41	-0.06
		高	7	14	3	0	3	3.17	3.36	-0.19

△: 中間時と比較して改善が見られる項目(0.2ポイント上昇)
▼: 中間時と比較して改善が必要な項目(0.2ポイント低下)

2 分析と対応策等

【1, 2の回答数が20%を超えた項目】

- ・ 該当なし

【他の項目と比較して著しく高い若しくは低い項目】

- ・ 該当なし

【評価分析】

- ・ 全ての調査項目で平均3.0を超えており、概ね目標を達成できていると思われませんが、項目によっては、「評価1」(不十分である)、「評価2」(やや不十分である)との回答もありますので、今後も、各学部や係で改善に取り組んでいきたいと思えます。
- ・ 今回の最終評価で中間評価と比較して0.2ポイント低下している項目や自由記述での御意見等については、改善がなされているのかについて、全職員で再度、考えていきます。
- ・ 個別の事案につきましては、担任、各学部主事、管理職等に対応させていただきます。

【改善策等】

- ・ 次年度の学校経営方針を「学び」「健康・安全」「連携」「協働性・専門性」の4点に整理し、学校評価項目と関連させていくことで、目標、評価、改善を一体的に進めていきます。具体的には、以下の改善策に取り組んでいきたいと思えます。

1 「学び」: 確かな学びにつながる教育課程の編成、授業の充実及び教育環境の整備に努めます。

評価改善が見られた職員研修でのICT活用した授業に関する研修を次年度も深めていくとともに、課題としてあげられていた教育課程や個別の指導計画における「指導目標・内容の設定」、「指導と評価の一体化」、「小・中・高の一貫性のある指導の充実」について検討していきます。

2 「健康・安全」: 命と人権を守り、安心・安全な教育環境の整備及びそのための校内体制の充実に努めます。

今年度、ヒヤリハット報告の見直し、危機管理体制の改善が行われてきているが、更なる安全管理の徹底を図っていきます。また、これまでの校内での感染症対策を継続・徹底しながら、安心・安全な教育環境の整備に努めていきます。あわせて、命や人権を大切にする心情を更に育む学習活動の充実を図っていきます。

3 「連携」: 家庭、学校、地域との連携を大切にされた教育活動の充実及び地域に開かれた学校づくりに努めます。

今後も新型コロナウイルスの対応による行事等の中止や変更が予想されますが、本校の教育活動及び特別支援教育への理解・啓発をめざして、学校ホームページ等を活用した保護者及び地域への積極的な情報発信に努めていきます。

4 「協働性・専門性」: 同僚間の学び合いと教職員の専門性の向上及びそれを支える職場環境の整備に努めます。

全職員の専門性やアイデアを生かした協働体制や相互の学び合いを大切にしながら、職員のキャリアステージを考慮した業務分担と、潤滑な引継ぎ、コミュニケーションの活性化を図っていきます。また、「一係一改善」を目標に簡素化・効率化による業務改善につながるようにしていきます。